

平成12年11月13日

## JEMS・BMS 研究会2000 年度活動報告

JEMS・BMS 研究会 島田 弘康

### 1. 活動の概要

日本環境変異原学会・微生物変異原性試験研究会（JEMS・BMS 研究会）の本年度の活動の概要は、下記に示す2回の定例会と3つの共同研究に示される。定例会では、外部講師をお招きしての特別講演や共同研究成果の討議等を行い、会員相互の啓発および情報交換の場として活用されている。共同研究では、既に活動中盤にかかり成果の著しい新菌株を用いる2つの共同研究と、ヒトS9を用いる新規共同研究が今年度から開始された。

### 2. 2000 年度の活動内容

#### 1) 第25 回定例会

日時・場所：2000年5月19日 静岡県立大学

講演：「魚類を用いる環境モニタリングとその評価」

木苗直秀（静岡県立大学）

「ヒトS9を用いたAmes試験とその実際」

羽倉昌志（エーザイ）

話題提供：ICHガイドラインにおける不純物の安全性確保について

島田弘康（第一製薬）

共同研究報告・その他

世話人：中嶋圓（安評センター）

#### 2) 第26 回定例会

日時・場所：2000年11月13日 17:30~19:45, 仙台市民会館 大ホール

（内容）

講演：「ヒト由来資源の使用における諸問題 - バイオハザードと倫理を中心に - 」

佐藤哲男（千葉大，HAB協議会）

共同研究報告および事務連絡

世話人：加藤雅之（日本生物化学センター）

石原啓美（コニカ），榎本佳明（三菱安科研）

#### 3) 共同研究について(進行中)

1) 大腸菌WP3101P-3106P株を用いた突然変異スペクトルの解析に関する共同研究

(12 機関) [代表世話人：石原啓美]

2) ニトロアレーン，芳香族アミン等の各種化合物に高感受性を示すYG株を用いた共同研究

(21 機関) [代表世話人：榎本佳明]

3) ヒトS9を用いる共同研究

(23 機関) [代表世話人：羽倉昌志]

### 3. その他

1) 会員数：87 (2000年10月現在)

2) 役員 (1999~2000 年度)

島田弘康（庶務幹事），中嶋圓（会計幹事），須井哉（HP担当，食薬センター），荒木明宏（日本バイオアッセイ），榎本佳明（三菱安科研），加藤雅之（日本生物化学センター），川口泰史・石原啓美（コニカ），関良子（東京慈恵会医大），松村茂夫（武田薬品）